

施策分析シート（平成25年度）

No1

施策名	都市計画道路の整備	施策No	12-02	部課名	防災都市づくり部道路公園課	
関連部課名		課長名	川原	内線	2730	
行政評価	分野	安全安心都市[VI]				
事業体系	政策	利便性の高い都市基盤の整備[12]				
目的	<p>都市計画道路は、都市の骨格を形成するとともに、地域の活動を支える欠くことのできない最も基礎的な都市施設である。</p> <p>また、都市計画道路を整備することにより、避難路や延焼遮断帯としての機能を確保し、木造住宅が密集する地域の防災性を向上させることができる。</p> <p>広幅員の歩道設置は、高齢者や障がい者が安全に歩行できる空間が確保でき、電線類の地中化や植樹帯の整備も可能となり“あんしん”と“うるおい”のあふれる都市空間を創造できるなどの効果が期待できるため、計画的に整備を進めていく。</p>					
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移				
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (28年度)
①	都市計画道路の整備率(%)	58.10	58.10	58.10	58.10	70.00
②						
③						
④						
⑤						
現状と課題 (指標分析)	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在、補助321号線と補助331号線の整備を進めており、25年度から補助193号線整備事業に着手する。 ● 今後は、第三次事業化計画の優先整備路線[※]の計画的な整備を検討していく必要がある。 ● 目標値である整備率70%を達成するためには、用地取得において関係権利者の合意形成を得ることが不可欠である。 <p>[※] 『区部における都市計画道路の整備方針』における第三次事業化計画優先整備路線 : (区施工分) 補助331号線、補助189号線、補助193号線、補助182号線 : 平成16年度～27年度(12年間)</p>					
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都市計画道路の整備は、現状を見極めた上で、重要性や経済性及び防災街づくりの観点から、優先順位を定めて計画的に進めていく。 ● 防災街づくりを推進していくため、第三次事業化計画の優先整備路線のうち、補助193号線を優先して整備していく。 					

施策の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
重点的に推進	重点的に推進	都市計画道路の整備率を23区の水準まで引き上げる。

施策分析シート（平成25年度）

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		23年度	24年度	25年度	26年度	
都市計画道路補助331号線	09-05-04	14,669	5,157	重点的に推進	重点的に推進	JR等の鉄道をはさみ南千住地域を東西に結び、広域避難場所「都立汐入公園一帯」への避難路となる補助331号線の整備は、災害時の円滑な移動を確保する上で極めて重要である。
都市計画道路補助321号線	09-05-13	24,343	27,339	改善・見直し	継続	事業認可を延伸し、未取得用地である東京ガス所有地の土壌汚染状況調査費及び対策費について、引き続き検討を進める。なお、取得済用地については整備する。
都市計画道路補助193号線	09-05-14	-	-	重点的に推進	重点的に推進	区では、地域危険度の高い町屋地区等にも不燃化特区制度の導入を考えており、その場合、当該路線を不燃化特区のコア事業とする。
合 計		39,012	32,496			